

計画停電の改善策について

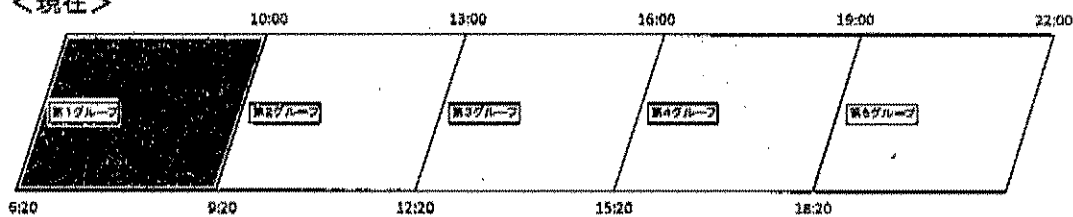
1. 当日の電力需給の見える化【22日(火)朝より実施】

○節電がより効果的に進むためには、電力需給の状況が「見える化」されることが有効。このため、東京電力が自社ホームページに電力需給データをほぼリアルタイムで掲載し、経済産業省のホームページでも掲載。

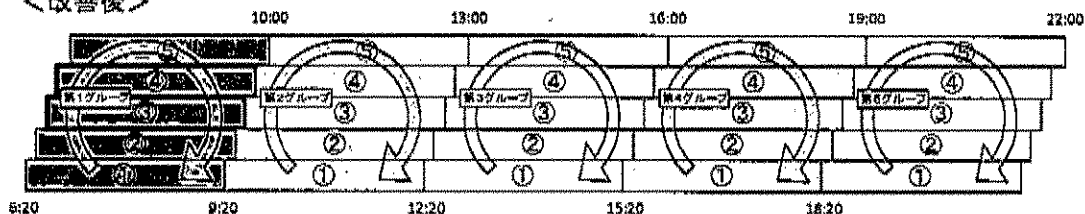
2. グループの細分化と停電の順位付け【26日(土)より実施】

- 現在公表している5つのグループにつき、それぞれ5つに細分化(サブグループ化)。
- サブグループがどの順番で停電する予定かを公表し、順番はグループ内でローテーションすることで、停電の予測可能性を高める。

<現在>



<改善後>



※例えば、はじめに第1グループの②・④が停電対象となった場合は、次回は⑤→①→②→③・・・の順に停電対象となる。

3. 停電見通しの事前順位【26日(土)以降速やかに実施】

- サブグループごとに、以下のような「電気予報」を実施することで、「2.」で高めた予測可能性を個々の需要家に分かりやすく伝える。
 - 青信号:「当該時間帯には実施しません」
 - 黄信号:「停電実施は不確実」
 - 赤信号:「停電実施の可能性が非常に高まっています」